

— 学校で学ぶ ・ 家庭で生きる ・ 地域で創る これが上鷺宮 —



上鷺宮

「自然といのちを守る学校」

<http://nk-kamisagi-e.a.la9.jp/>

開校41年

No.461

令和元年度

学校だより 1月号

中野区立上鷺宮小学校

校長 堀 聡明

TEL 3926-6381

動き出さなくては

校長 堀 聡明

新しい年が始まりました。今年も一年、よろしくお願い申し上げます。

学校にとっては、本日から授業が再開され、年度のまとめとなる日々となります。特に6年生にとっては、中学への進学という大きなステップがあります。全学年の児童もそれぞれの目標を達成できるように導いていきたいと考えております。新しい年を迎え多くの人が新年の誓いなるものを立てたのではないのでしょうか。昨年末に、1年の振り返りは自分のよさを振り返ろうと話し、朝会でも自分のよさを伸ばすような目標や意気込みを立てようと伝えました。はじめの一步さえ踏み出してほしいと願っています。

今年は、オリンピックイヤーです。スポーツの世界で「心技体」という言葉が使われます。しかし、真の意味での使い方はもしかしたら「心体技」なのかと思っています。心にきめたら、まずはやってみる。頭の中であれこれ考えてばかりいるのではなく、動き出すことが大切だと思います。動き出したら今度は、工夫を加えてクオリティをあげていく。このことが「心体技」なると思います。やっぱり地道な基礎・基本なのです。正月の三日に行われました実業団や大学生の駅伝の選手も言っていました。苦勞しないで、レギュラーにな

れたり一段上の選手になったりしたらこんないいことはない、と。努力は裏切らないとか練習は結果を出すとか、このような言葉はよく使われますが、並大抵のレベルではないと思っています。私たちは何かを達成しようと思ったとき、自分もっている力や才能、身体能力で、ある程度まではいくものです。しかし、そこから先は努力が必要となってきます。人様と同じことをしているだけでは上にはいきません。苦勞しないと一步上のことは達成できないものです。苦勞をして一步上にいけると楽しくなり、苦勞がやりがいにかわってくるものです。人の話を聞いていても、いい話だけど自分に関係ないとぼんやりと聞いてはだめで、いい話ならばその話を自分なりに分析して、アレンジを加え、自分の考えや行動に取り入れてみる。そして自分の人生を面白くする。自分の人生は自分で面白くすることが大切でしょう。でも、こんなことは誰もが分かっていることだとも思います。今まで止まっていた人には、動き出すのは止めようという声が聞こえるのです。はじめの一步が実はいちばん大きな一步ではないのでしょうか。動き出せば動き続けます。ゼロからの一步は、一步から百歩までの距離より遠いものです。

今年も教職員一同、児童のよさを伸ばせるように励ましながら教育活動に取り組んでまいります。

1月の生活目標 **寒さに負けない体をつくろう**